

10月は食品ロス削減月間、10月30日は食品ロス削減の日 もったいない！ 今日から実践食品ロス削減

■ 持続可能都市戦略室

「食品ロス」には、食べ残しや売れ残り、賞味・消費期限が近いなど、さまざまな理由があります。日本では毎日、大型トラック(10トン車)約1,433台分の食品を廃棄しています。無駄なく食べきり使いきることで、環境や家計に優しい取り組みを実践し、身の回りの食品ロスを削減しましょう。



食品ロスとは？食品ロスを減らすには？

食品ロスとは、食べられずに捨てられた食品のことです。家庭から出る食品ロスをなくすため、以下のことに注意しましょう。



買い過ぎ



賞味・消費期限切れ



過剰除去



食べ残し

いばらき食べきり協力店募集

県では「おいしく、残さず食べよう」を合言葉に、「食品ロス」の削減に協力いただける飲食店や宿泊施設を募集しています。市でも、市内の飲食店や宿泊施設に「いばらき食べきり協力店」への登録を推奨しています。登録すると、県や市のホームページで、店名や取り組みの内容が紹介されます。



▲県ホームページ

■ 登録申請書(県ホームページに用意)を茨城県資源循環推進課に郵送、FAX、メールまたは直接



▲市ホームページ

■ 茨城県資源循環推進課

〒310-8555 水戸市笠原町978-6)

☎029(301)3020 ☎029(301)3039

✉haitai1@pref.ibaraki.lg.jp

担 環境衛生課

気軽にできるエコ・クッキング

(東京ガスとの連携事業)

エコ・クッキングとは、環境のことを考えて買い物・調理・食事・片付けをすることです。

※東京ガスは、つくばSDGsパートナーズ(市内でSDGs達成に向けて取り組んでいる市民、企業、大学、研究機関、NPO法人などが、知識、経験、想いなどを共有する登録制度)の団体会員です。



エコ・クッキングの主なポイント

買い物▶旬の食材や近くで採れた食材を選ぶ
調理▶鍋底の大きさにあった火加減にする
食事▶作り過ぎないようにする
片付け▶生ごみは乾いた状態で捨てる。節水と、排水を汚さない洗い方をする

※「エコ・クッキング」は東京ガスの登録商標です。

きずなBOX

市役所など市内10カ所に設置されている「きずなBOX」では、家庭で余った食品の寄付を受け付けています。寄付された食品は、生活困窮者や福祉施設に提供されます。寄付の際の留意点などは、「フードバンク茨城」公式ホームページをご覧ください。



設置場所

社会福祉協議会(筑穂1-10-4)
市役所1階レストラン前(研究学園1-1-1)
市民活動センター(竹園1-10-1)
竹園交流センター(竹園3-19-2)
つくば・市民ネットワーク(二の宮2-1-3)
並木交流センター(並木4-2-1)
ふれあいプラザ(下岩崎2164-1)
荃崎窓口センター(小荃320)
カスミ梅園店(下原380-5)
セブン-イレブンつくば赤塚東店(赤塚685-17)